

はぐるま

34・35号(合併号)

ごあいさつ



部会長 梅本真澄

新年明けましておめでとうございます。

日頃皆様には、女性部会へのご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和3年が平和で皆様にとって良い年となりますよう心よりお祈りいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染に始まり、各地で起きた自然災害も被害が大きく、心身だけでなく経済にも大きな打撃を受け、不条理な非日常を強いられました。当女性部会でも映画会を始め、役員会、バス研修旅行、絵はがきコンクールの表彰式と次々に中止の判断をせざるを得なくなりました。しかし、この困難は悪い面ばかりでなく多くの学びも得られ、当部会では、リモート会議の勉強会をし、感染対策をしっかりと行った状態での活動を計画しました。

今後、業界の未来、勤労方法、ICT化の促進や家族の有り方に至るまで、従来の考え方を見直し新しい社会活動の進め方やライフスタイルの価値観を構想していかなくてはなりません。信頼性の高い情報の入手と正しい分析により、今回のコロナ対策で得た教訓をいかして、より良い社会が創られていく事を願います。そして、ひとりひとりの気持ちが繋がる会の運営を安心安全にできるよう皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

医療従事者の方々をはじめ、この感染症を封じ込める為に、ご尽力いただいているの方々には深く感謝申し上げますとともに、一日も早い終息を願い、皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



ごあいさつ



津税務署法人課税第一部門統括国税調査官
中村 彩子

令和3年の年頭に当たり、公益社団法人津法人会女性部会の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人津法人会女性部会の皆様方には、法人会活動を通じ、日頃から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、制限の下での活動を余儀なくされる中、皆様方が行う社会貢献活動に取り組む姿勢を拝見し、大変心強く感じました。なかでも「税に関する絵はがきコンクール」については、女性部会の皆様方の御尽力のおかげで、多数の応募をいただき、私も審査に携わらせていただきましたが、子供たちの発想力と作品の色彩の鮮やかさに大変感動いたしました。

是非、次代を担う子供たちのために、引き続き充実した租税教育活動に取り組んでいただきたいと思います。

さて従来から、私どもは電子申告・国税納税システム（e-Tax）の利用促進及びマイナンバーカードの取得促進に取り組んでまいりましたが、2月から始まる個人所得税の確定申告は、コロナ禍における新しい生活様式の中での申告となり、デジタル化へのターニングポイントと考えております。

マイナンバーカードを利用したスマートフォンからの電子申告は、新しい生活様式にも合致しており、とても便利なものとなっております。女性部会の皆様方におかれては、是非、法人の役員や従業員の皆様に対し、「個人所得税の申告はスマホでの電子申告が便利みたいですよ。」とお声がけいただけますようお願いいたします。

結びに当たり、女性部会の更なる御発展と、皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

税務研修会

日 時：令和2年7月9日(木) 14:00～15:00

場 所：都シティ津 5階

講 師：津税務署法人課税第一部門統括国税調査官 玉津 明洋 氏

税制委員会主催の研修会に、検温、手指消毒、三密に配慮しながら参加しました。国税庁Web-Tax-TV～「脱税を見逃さない! 国税査察官の仕事」

「マイナポータルを活用した年末調整・確定申告の簡便化について」を視聴しました。続いて、津税務署法人課税第一統括官 玉津明洋氏より、「税の話あれこれ」

と題された講演を、ご自身の感じられたことや身近なエピソードを交えて楽しく話して頂きました。「分かりやすかった」「面白かった」との声が上がるなか、税金に理解を深められた充実のひと時となりました。

(S・Y)



初めての ZOOM 体験講座

日 時：令和2年8月20日(木) 15:00~16:30
場 所：三重県総合文化センター文化会館 2階 中会議室
講 師：有限会社美鶴 代表取締役 伊藤 俊哉 氏

コロナ禍でままならない法人会女性部会の活動ですが、リモート活用で可能性が広がればと、「初めてのZOOM体験講座」が3人掛け机を1人使用で密を避け、開催されました。

90分の研修の終わりには画面に参加者全員の顔が映りZOOMつながりを実感。次回のステップアップ講座へ期待する声もありました。

女性部会の活動をリアルとリモートのダブル使いで、より多くの会員の方々に参加していただけるのが目標です。距離、時間等の制約に関係なく、気軽により多く参加できるようになれば、女性部会は今まで以上の広い範囲での活動もできると思います。一人ではなかなかできないことも、皆でやれば結構できるものです。いろいろな可能性に向かって、皆さんと一緒に勉強していきたいと思えます。

(M・T)



各種行事が中止になる昨今ですが、役員方の御尽力にて感染対策も万全の上でZOOM体験講座に参加させて頂きました。

近頃急速に使われるようになった便利ツールも、気になりながらも喰わず嫌いでおりましたが、一から丁寧に教えていただく事で、いざという時に使える知識を身につける事ができました。参加者の皆さんはスマホ、タブレット等で初めて触るボタンに興味津々。わからないところが理解できて、とても面白いと思える講習会でした。オンライン会議が開催される折には、時代の流れにもついていけるようにしたいと思えます。

(R・O)



復習会



8月26日(水)、9月2日(水) 12時30分~13時10分昼休みの時間帯を利用してZOOM復習会を行いました。1回目はうまくいかなかった方も2回目はスムーズにつながり、体験会で学んだことを実践できました。

また9月8日(火)正副部会長会議は1名ZOOMで出席、今後の女性部会の活動にも役立つものと考えます。

第8回 税に関する絵はがきコンクール

租税教育
事業



倭小学校 5年 宮田 敦生

社会の教科書を見て三重県の形を真ん中に書いたこと。水道や救急車・アルコール消毒の絵がうまく書けたと思います。

※うまくできたところ、工夫したところを受賞者の方々にお聞きしました。

全国法人会総連合女性部会連絡協議会では小学校高学年対象の租税教育事業として「税に関する絵はがきコンクール」を実施しております。

津法人会では女性部会が中心となり作品を募集し今回で8回目となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により短い夏休みとなりましたが、多数の作品が集まり、津法人会会長賞、津税務署長賞、津市長賞、女性部会長賞の4賞並びに優秀賞が決定し11名の児童に賞状と記念品が贈呈されました。

津税務署長賞



南が丘小学校 6年 王 致遠

方言をつかうことで見る人に印象に残りやすいよう、工夫しました。

津市長賞



南が丘小学校 6年 浅海 桃佳

小学生の身近にあるものをあえて選び書きました。

公益社団法人津法人会 女性部会長賞



成美小学校 6年 里見 もも

文字の周りを色でぬったり、税が何に使われるか、税があるからみんなが笑顔になることを絵に表しました。

優秀賞



南立誠小学校 6年 白木 海羽



南立誠小学校 6年 大西 葵唯



片田小学校 6年 杉村 陽梨



一志西小学校 6年 宇野 帆香



新町小学校 5年 橋本 優那



高茶屋小学校 4年 杉村 実咲



栗真小学校 4年 下元 勇輝

審査会



日時：9月11日(金)13：30～14：30
9月14日(月)10：00～11：00
場所：津税理士会館2階会議室



コロナ渦により三密を避けるため2回に分けて開催。税の大切さや税の果たす役割を上手く表現した作品に出席者全員が感心しつつ、厳正な審査を行いました。

表彰



女性部会長賞
成美小学校にて



津市長賞 津市役所にて
残念ながら受賞者全員での表彰式は中止となりましたが、4賞につきましては児童に直接賞状を授与する場を設けることができました。

展示

11月3日(火)～12日(木)イオンモール津南1階つながりの間
11月17日(火)～12月4日(金)三重県津庁舎1階ロビー
12月7日(月)午後～18日(金)午前中 津市役所1階ロビー
上記日程で全応募作品が展示されました。昨年度より長期間の展示となり、多くの方にご覧いただきました。

佳作

- 高茶屋小学校 6年 藤田 莉愛来
- 西が丘小学校 6年 石井 菜那
- 西が丘小学校 6年 永合 眞子
- 南が丘小学校 6年 鈴木 朝葉
- 立成小学校 6年 柴山 愛美
- 北立誠小学校 5年 安原 弘晟
- 西が丘小学校 5年 藤田 愛江李
- 上野小学校 5年 篠木 花音
- 豊津小学校 5年 長谷川 優育
- 成美小学校 5年 山本 莉久歩
- 一志東小学校 5年 水谷 しずく
- 雲出小学校 4年 棚橋 仁希
- 成美小学校 4年 深田 悠真

ジョイセフ活動についてのお知らせ

JOICFP (ジョイセフ) とは

ジョイセフは女性のいのちと健康を守るために活動している国際協力NGOです

ジョイセフ (公益財団法人) は、女性のいのちと健康を守るために活動している
日本生まれの国際協力NGOです。

戦後の日本が実践してきた家族計画・母子保健の分野での経験やノウハウを途上国に
移転してほしいという国際的な要望を受け、1968年に設立されました。

国連、国際機関、現地NGOや地域住民と連携し、アジアやアフリカで、
保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援を行っています。

当部会では、社団法人津法人会女性部会創立10周年記念事業の一つとして平成11年から収集ボランティア活動を開始し、ジョイセフを通じて社会貢献活動を行ってきました。当初は使用済みプリペイドカードを回収しておりましたが、平成20年から主な収集物を使用済み切手・使用済みインクカートリッジに変更し活動を続けてきました。この度ジョイセフにおける収集物の内容が変更され、使用済み切手・使用済みインクカートリッジの回収が終了することとなりました。これまで、ご協力ありがとうございました。なお使用済み切手につきましては2021年2月末まで受付いたしますので、ご協力をお願いいたします。

**今後は「未使用切手・ハガキ・貨幣」を中心に収集ボランティア活動を
継続しますので引き続きご協力いただきますようお願いいたします。**

ハガキで支援

- 宛名面に切手印字(料額印面)があり未投函の書き損じハガキ
- 未使用ハガキや古いハガキ(往復はがき、年賀はがき、かもめーるなど)
- 額面が63円以外のハガキも対象となります。



※従来どおり研修会等で回収いたしますとともに、随時、事務局でもお預かりいたします。

貨幣で支援

- 世界中どこの国の貨幣 (コイン・紙幣) でも結構です。
- 現在流通していない貨幣も対象 (日本の古銭・紙幣も含まれます)



未使用切手で支援

- 日本の切手でも外国の切手でも結構です。



防災への備え

近年多発する台風や集中豪雨等による自然災害、特に三重県では近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震等の大地震・・・心配ではあるけれど何を準備しておけばいいのかとお考えではないでしょうか。ご家庭や会社で備えておきたい防災用品について、広報委員会で（株）山口商会 代表取締役 山口久彦氏にお話を伺いました。



■ 近年の災害について、どのようにお考えですか。

近年、温暖化による気候変動により四季がはっきりしない状況が出てきております。今年もコロナウイルスによる感染拡大から始まり関東地方での地震の多発、7月の終わりまで続いた長梅雨、そしてどこで起きても不思議ではない豪雨による大災害、8月に入りコロナの第二波と猛暑など異変と思われる異常事態が続いています。

■ 何が起きてもおかしくない状況と言えますね。災害の備えとして準備するものというと、水とか食料品でしょうか。

もちろん水・食料品は大事です。それに関しては皆さんの意識も高く、すでに準備いただいている方も多いと思います。今回ぜひ備えていただきたいものは、災害時に使用するトイレです。大地震等により長期の避難生活を強いられ、水道ガス電気などが止まり復旧に2～3週間以上になった時、自宅は無事だったとしても生活はたちどころに困ります。水や食料品は備蓄していてもトイレはなかなか用意している家庭は少ないようです。

■ なるほど。災害用トイレとはどのような物でしょうか。

災害用トイレ処理袋を家庭の水洗トイレに被せて使用します。凝固・除菌・消臭剤を入れて用を足します。保管時に1か月は菌の繁殖を防ぎ嫌な臭いを拡散しない薬剤を使用しています。これは1か月くらい保管しておくのに必要なのです。災害によりゴミ収集が止まった時、一時的に保管し再開した時には燃えるゴミとして出すことができます。できれば各家庭に100枚セットぐらいは用意してほしいものです。



たいへん参考になりました。山口様のお話で、災害への備えの大切さを改めて感じました。早速、会社や家庭の備えを見直そうと思います。本日はありがとうございました。

最新の
携帯おにぎりを
いただきました！

水またはお湯を注ぐだけ。握らなくてもよいので、手を汚さず食べられます（賞味期限5年6か月）。以前の商品に比べ、お米の自然な味がして美味しかったです。





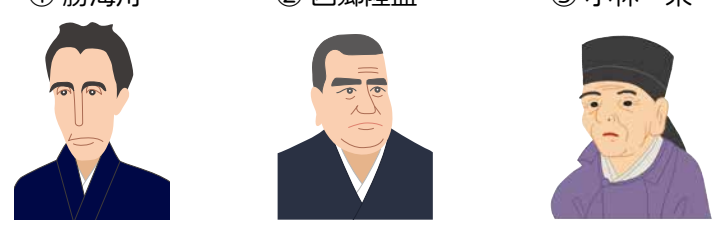
税金クイズ

第1問 国の税金の使い道で、一番多いのは何でしょう？



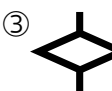
① 社会保障 ② 国債費
③ 地方交付税交付金 ④ 公共事業費

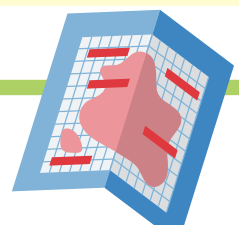
次の人の中で今でいう税務署にあたる役所で働いたこともある人は誰でしょう？

① 勝海舟 ② 西郷隆盛 ③ 小林一茶




第3問 税務署の地図記号はどれでしょう？

①  ②  ③ 



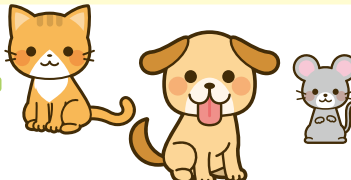
三重県が日本で最初に始めた税金はどれでしょう？



① 産業廃棄物税 ② 宿泊税
③ 遊漁税 ④ 歴史と文化の環境税

第5問 江戸時代にあったおもしろい税金はどれでしょう？

① ねこ税 ② 犬税 ③ ねずみ税



②:5問 ①:7問 ③:3問 ④:2問 ⑤:1問

編集後記

新春を迎え、「はぐるま34・35号(合併号)」をお届けいたします。今年度より年2回発行、部数を増やし、女性部会の皆様のみならず本会会員の皆様にもお届けする予定でしたが、34号は新型コロナウイルス感染症の影響により8月に発行できませんでした。行事が少ない中、皆様の前向きな姿勢により、この度無事発行することができました。「輪」を大切に、新しい方向での行事ができますことを願っております。ご協力ありがとうございました。

広報委員会